＼ 食べ物を捨ててしまうなんてもったいない! ／

30(さんまる)・10(いちまる)運動 ガイドブック



食べ物を捨ててしまうなんてもったいない!

日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出されています。

このうち「食品ロス」は、全国で年間に500～800万トンもあると言われています。

「食品ロス」とは?
売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの食品のことです。

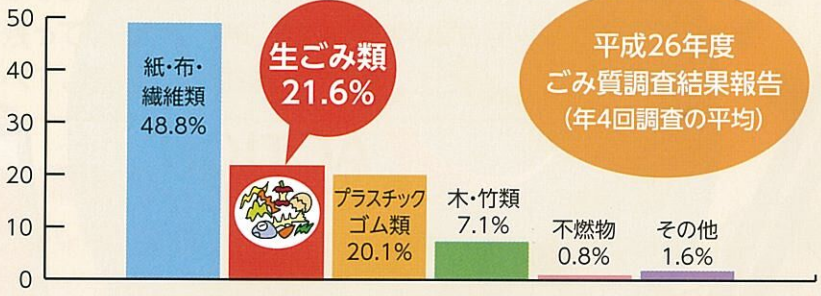


なぜ、30・10運動をしなければいけないの?

飲食店等からの「食品ロス」のうち、約6割がお客さんの食べ残した料理なんです。

指宿市清掃センターと、頴娃ごみ処理施設では、毎年ごみ質の調査を行っています。中身を見ると、**約2割**が生ごみ類です。

平成26年度に両施設で焼却されたごみ量は、13,764tとなっていますので、これらを基にすると、指宿市では、1年間に**約2,973t**も生ごみ類が排出されていると推計できます。





なので



指宿市では、**「残さず食べよう! 30(さんまる)・10(いちまる)運動」**に取り組み、食品ロス削減を推進しています。

30・10運動の具体的方法

会食、宴会時での食べ残しを減らすために
取り組んでみましょう。



1. 注文の際は、適量を注文しましょう。
2. 乾杯後、**30分間は席を立たず**料理を楽しみましょう。
3. お開き前、**10分間は自分の席に戻って**、再度料理を楽しみましょう。

お店のスタッフさんの場合



宴会前	当日	宴会後
宴会前の打ち合わせで30・10運動について幹事さんと話しましょう。	当日も、30・10運動をお客様にアピールし、食べ残しを減らすお願いをしましょう。	食べ残しが減ったかどうかチェックし、いい結果は紹介しましょう。

幹事さんの場合



宴会前	当日	宴会後
参加者に、事前の案内で「食べ残しを減らそう」というお願いをしましょう。	裏ページに書いてある内容を参加者に呼びかけ30・10運動を実践しましょう。	宴会後に食べ残しが減っていれば参加者にそのことを紹介しましょう。

参加者の場合



宴会前	当日	宴会後
30・10運動を実践しようという気持ちを持ちましょう。	当日は幹事の呼びかけにしたがって30・10運動を実践しましょう。	宴会後は、食べ残しの削減結果を確認し、他の知り合いにもPRしましょう。

幹事さんの呼びかけの仕方

残さず食べてみんなSMILE
さんまる 30 10 いちまる運動

始まりの時の呼びかけ

ご出席の皆さまにお願いします。
まごころのこもったおいしい料理を残すことは、もったいないことです。30分間は席を立たないで自分の席で料理を楽しみましょう。

30分後

それでは30分たちましたのでご自由にご歓談ください。
終了10分前にまた声をおかけしますので、そのときは、席に戻り再度、お食事をお楽しみいただきたいと思います。

お開き10分前の呼びかけ

そろそろ、お開きの10分前となりますが、テーブルにはまだ料理が残っているようです。ご自分の席にお戻りいただき、残さず食べて、気持ちよくお開きにしましょう。

ぜひ、職場内の会食・宴会から始めていただき、「もったいない」を心がけ、食品ロス削減の取り組みにご協力ください。





30・10運動についてのお問い合わせ

指宿市役所 市民生活部 環境政策課
〒891-0497　鹿児島県指宿市十町2424
☎0993-22-2111(内線244・245)